



今後の市の行先は！

宮間 文夫 議員



アメリカはトランプ氏が次期大統領となり、韓国は大統領が国民の信頼を得られないような状態のように、我が国といえは、安倍政権のもと、しっかりと政治を安堵政権のようですが、天皇陛下のお話もございしますが、私の父方のおじいさんのおじいさんは乃木希典大將と聞いております。大將は、戦争の結果を明治天皇に報告した際、責任をとらせていただきたくいと申し上げましたところ、朕の後にと言われ、明治天皇ご崩御の後、ご夫婦で責任をとられたと聞いております。社会が大きく変わっている中、それは大綱白里はどうでしょう。豊かな自然に恵まれている、東京駅まで特急で45分で行けるという大綱駅があり、季美の森やみどり丘には移り住んでくる人も増えていきます。落ち着いてしっかりと行政サービスを行っていく環境にあると思います。しかしながら、私が毎回質問させていただいているように、市制を行ったわけですから、市にふさわしい環境整備が求められていると思います。経済産業施策についてお伺いいたします。2020年の東京オリンピック開催を見据えた2018年世界女子ソフトボール選手権大会が千葉県で開催されることとなっており、4自治体、千葉市、習志野市、成田市、市原市が試合会場となるそうです。国際大会の名にふさわしい大会とするともに、地域の活性化につながるようキャンプ誘致などを積極的に行うことが考えられると思いますが、本市においての考えは、また国際交流という観点からも何かお考えがございましたらお聞かせください。

本市における東京オリンピック・パラリンピック等に係る取り組みですが、各国選手団の事前キャンプ招致や聖火リレーの誘致、また国際交流、観光振興など、さまざまな情報

報の収集に努め、庁内で検討を行い、連携して対応を図っております。事前キャンプ招致につきましては、競技施設として大綱アリーナに招致の可能性はあるものと考えておりますが、宿泊施設の面からも市単独での招致は困難であることから、千葉県や近隣市町と連携して対応を図っております。これまで千葉県が設置した東京オリンピック・パラリンピック千葉推進会議のキャンプ・国際大会・MICE誘致部会の分科会である東金・大綱白里・長柄地域キャンプ誘致分科会に本市も参加して活動を行っております。昨年度は、本分科会を通してオランダオリンピック委員会の視察を受け入れたところで、また千葉県において、キャンプ招致を進めるためにワンストップで相談支援を行うスポーツコンシエールを公益財団法人千葉国際コンベンションビューローに設置しております。この千葉県スポーツコンシエールや全国知事会オリンピック・パラリンピック競技大会推進本部などの関係機関と連携し、ホームページに競技施設の情報を掲載しております。なお、スポーツコンシエールにおきましては、2018年に千葉県で開催される世界女子ソフトボール選手権につきましてもキャンプ招致活動を行っているところで、このほか、県内市町村長とともにサーフィン競技会場誘致に係る要望書を提出するなどした結果、8月にサーフィン競技が追加種目として正式に採択され、開催予定地が一宮町の釣ヶ崎海岸であることが公表されております。なお、正式な開催地の決定は12月の国際オリンピック委員会理事會において決定されるものと伺っております。このようなことから、本市といたしましては活性化につながる取り組みを進めてまいります。

その他にも質問をしました。

一日、柳橋で火災が発生して2軒が全焼しましたが、幸い人的被害はありませんでしたが、残念なことに消防が消火栓に繋がらぬに相当時間がかかってしまったというところで、実は私、今朝、南消防署に寄って事情を聞いてきました。その地域は消火困難地域と呼ばれている地域で、例えば消防車が入るにしても道が狭い、それから、消火栓が周りにいくつも有るけど、どの消火栓に繋ぐにも15〜16本のホースを繋がないと繋がらない、そういう事情で時間がかかってしまったということですが、消防関係者の皆さんは、懸命に消火にあたって大変でしたが、今後、そういった消火困難地域を無くしていくとか、消火栓の増設というようなことを含め、対応していかねければならないということを感じました。自主防災組織も大分広がっておりますが、単に数を増やすということだけでなく、自主防災組織を量・質共に充実させる問題、法的に義務付けられている火災報知器の設置を促進していく問題なども取り組んでいかなければならないと思っております。

消火栓増設、公共交通整備、介護職員不足対策、水道料金値下げ

蛭田 公二郎 議員



以下、そういった防災問題を始めとした6つの質問項目について、これよりは発言席にて質問させていただきます。

まずは、公共交通問題についての質問

1. 巡回バスの改善について

問 ① 運行ルートの改善（柳橋、南横川、白里、国道西側地域）

答 ルートの変更の検討は、次期の契約条件の検討にあわせて行ってまいりたいと考えております。

問 ② 増便（特に通勤、通学時の増便。朝は永田駅に寄る）

答 ③ 料金引き下げ、回数券発行

答 まずは、利用者を増加させて、事業者の収支を改善していくことが

サービス向上につながるものと考えています。

2. 免許証自主返上者に優遇を

問 ① 巡回バスの優遇で返納促進を

答 地域公共交通活性化協議会の議論も踏まえながら、事業者、関係各課と協議してまいります。

3. 「白里バス」の運行状況如何

答 白里地区の新路線バスについては、1便あたりの平均利用者は1人となっており、平成30年末に運行協定期間が終了する。事業者からは次期更新は難しいとの話を頂いては、運行継続の対応については今後検討を行ってまいりたいと考えております。

4. デマンドタクシー運行

問 ① 5年前の実証運行の失敗の教訓如何、② 他市の取り組みを参考に

答 今後、高齢化の進む地域などにおけるデマンド交通の必要性は検討を行ってまいります。

5. 民間（病院や介護施設等）の送迎バスなどの連携

答 現在、季美の森整形外科が運行している送迎バスの空席を利用させて頂き、高齢者外出支援事業を行って頂きたい。民間事業者との協働も含めて検討を行ってまいります。

以上の1. 公共交通問題の他、2. 高齢者介護施設整備問題については

(1) 特養の整備、① 特養の待機状況、② 特養の建設計画について、(2) 介護士不足の解消について、① 介護士不足解消に向けた市の取り組みについて、② 介護士の処遇改善について、③ 水道料金体系見直しについてなどについても質問しました。

また4. 防災対策問題、5. 子どもの医療費問題、6. 市民の健康づくりに関する質問は、時間切れで次回以降に持ち越しになりました。

子育て支援、防災避難計画、そして駅前市街地整備は、待ったなし！

森 建二 議員



私が議員をさせて頂き1年が経ちます。勉強を怠らず努力を怠れず、故郷の発展のために努力して参ります。

先日、JR千葉駅の新駅舎が開業しました。千葉市の事業であります千葉駅西口地区の再開発が同時に行われ、民間のノウハウを活用したまちづくりが進められています。我が大綱駅周辺は、平均乗降人員数が千葉駅の10分の1。本来であれば千葉駅の10分の1の「賑わい」があってもおかしくありません。大綱駅が我が街の玄関口として更なる発展の起点になるよう、私たちの子ども達のために頑張ります。

● 大綱駅南地区市街地整備について

大綱駅の南地区は、昭和58年の都市計画の施行以来、市街地整備の必要性が言われながら事業化には至っていない。送迎車の慢性的な渋滞は大きな危険を呼び込む。今後の市の発展を考えれば喫緊の課題。先日、大綱駅南地区市街地整備の基本構想が示されたが、現状の把握は、現在の駅前広場におけるタクシー/バス/一般車の乗降場所面積の比率、そして実際の乗降車の比率について。

答 駅前広場のバス、タクシーの乗降所及びプール、そして一般車両の乗降場所のスペースを区画数で言うると、バスは待機所として6台。タクシーは乗降所が2台、そして待機所が15台。一般車両は乗降所のみとなっており、概ね4台から6台ほどのスペースと考えると、続いて進入する車両台数は、平日バスが203台で約6.3%、タクシーが201台で6.2%、乗用車が2,721台で83.9%、他の車両が1,177台で3.6%。乗用車がかかり多い状況ですので、そこを加味して全体的なレイアウトの見直しを大綱駅周辺整備検討委員会で検討して頂きたいと考えます。

問 色んな立場の方の意見を聞くべきです。これから長い年月がかかる

と思われませんが、最終的に、いいものができまうように。

● 子育て支援について

問 「ネウボラ（相談、子育て支援）」が注目されている。元はフィンランドの「妊娠期からの切れ目ない」ワンストップの子育て支援の事であり、国内でも、埼玉県のと光市や東京都の世田谷区、札幌の千歳市、県内では浦安市が、「日本版ネウボラ」として注目されています。

現在の大綱白里市の子育て支援は、来春から新たに2つの民間保育園が認可化予定であり、その補助もうまく行っており、市の保育所と併せて、官民一体となつていい方向に進んでいる。これは市の担当者の素晴らしい成果です。

現在みどり丘市有地に子育て支援施設の開設が考えられているが、この施設の概要について。

答 現時点では施設の機能の詳細は未確定です。想定機能は、乳幼児のいる親子を対象とした子育て支援機能として、遊戯室や相談室、談話コーナーなど。また児童を対象とした施設としては、学童保育室及び放課後子ども教室について検討を進めており、本年度に策定します基本計画の中で精査します。策定に当たって東洋大学の支援を受けており、今後は出産、子育て、買い物などの環境がコンパクトに集約された魅力ある生活空間を形成できる様、施設整備計画の策定を進めます。

問 地域住民の意見もぜひ良く聞きながら、最終的には市内はもとより、他市、他県にも誇れるような施設がこの大綱白里市にできますよう、一人でも多くの子育て世代の方々に、本市に住んでいただけるよう努めて参ります。

※他に、津波避難タワー、住民自治組織（自治会や区）との連携について質問しました。